

## 令和5年度 公益財団法人神奈川県消防協会 業務報告

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

事業項目	実施内容	事業区分	日程(時期)
I 会議	1 次の会議を開催し会務の進展を図った。		
	(1) 7地区消防団事務担当者会議 ・於 シルクセンター		4/24
	(2) 理事会 ・定時第1回 於 シルクセンター ・臨時 於 神奈川県消防学校 ・定時第2回 於 書面会議		5/12 10/5 2/9
	(3) 評議員会 ・定時 於 産業貿易センター		5/29
	(4) 消防団事務担当者会議 ・於 神奈川県消防学校 参加消防職員55名		7/14
	(5) 正副会長会議 ・第1回 於 シルクセンター		8/17
	(6) 表彰審査委員会 ・於 シルクセンター	(公2)	8/17
	2 次の会議に出席し、会務を調整した。	(公3)	
	(1) 日本消防協会役員会議		
	ア 理事会 ・於 (書面会議)		5月
	イ 理事会・評議員会 ・於 日本消防協会 飯田会長、高橋副会長及び横川事務局長出席		6/22
	(2) 関東甲信地区消防協会会議 (山梨県) ・於 山梨県庁防災新館401会議室 午後1時00から 会長・事務局長出席		6/29~30
	(3) 臨時理事会・評議委員会 ・於 (書面)		11月
	(4) 関東甲信地区消防協会事務局長会議 (栃木県) ・於 宇都宮市大通2丁目4番6号「ホテルニューイタヤ」 事務局長・事務局員3名出席		12/7~8
	(5) 都道府県消防協会事務局長会議及び全日本消防人共済会都道府県事務長会議 事務局長・事務局担当課長1名出席		2/28
II 表彰	1 令和5年度神奈川県消防功労者表彰式	(公2)	3/27
	(1) 消防団の表彰		
	ア 表彰旗 1団 藤沢市消防団		
	イ 竿頭綬 3団 横浜市金沢消防団、綾瀬市消防団、箱根町消防団		
	(2) 消防団員の表彰		
	ア 功績章 201名		
	イ 功労章 0名		
	ウ 勤続章20年 343名		
	エ 精勤章20年 343名		
	オ 精勤章10年 518名		
	カ 精勤章5年 1,005名		
	2 第76回日本消防協会定例表彰式	(公2)	
	・於 日本消防協会		
	(1) 特別功労賞 横浜市港北消防団長 飯田孝彦		
	(2) 特別表彰 まとい 南足柄市消防団		
(3) 表彰旗 1団 海老名市消防団			
(4) 竿頭綬 3団 平塚市消防団、藤沢市消防団、座間市消防団			
(4) 功績章 20人			
(5) 精績章 48人			
(6) 勤続章 140人			
(7) 優良婦人消防隊 1隊 横須賀市三春婦人消防隊			
(8) 優良婦人消防隊員 横須賀市船越町婦人消防隊 早川とよみ		3/8	

事業項目	実施内容	事業区分	日程(時期)
Ⅲ 指導研修・調査研究	Ⅰ 神奈川県消防学校において次の研修会を開催した。	(公1)	
	(1) 消防団幹部研修(1日研修)		6/13
	・対象者 分団長以下		
	・出席者 59団中 59名		
	研修内容:		
	1 消防団員確保について		
	2 消防団員の体力維持と向上について		
	(2) 消防団副団長研修(1日研修)		7/7
	・出席者 51団中 53名		
	研修内容:		
	1 消防団の安全管理と健康管理について		
	2 気象状況から起こる災害及び副団長の役割について		
	3 消防団員確保のための普及・啓発対策		
(3) 正副団長研修会(1日研修)	10/5		
・対象者 正副団長 59団中173名			
研修内容:			
消防団員健康づくりセミナー			
(4) 消防団員指導者講習 10月~11月	10/15		
・対象者 副分団長以下(1日講習 計7回)	10/22		
・講習受講者 39団中 325名(19名欠席含)	10/29		
講習内容:	11/5		
1 安全管理の基本	11/12		
2 訓練礼式	11/19		
3 現場指揮要領	11/26		
*消防団員教育資料を活用			
(5) 消防団員指導員研修(1泊2日研修)	10/6~7		
・対象者 副団長以下39団中 34名			
・出席者 39団中 34名			
講習内容:			
幹部の心得 現場指揮、安全管理等			
・横浜市20団は別途実施			
実施日:10/21・10/28			
出席者:20団87名			
(6) 消防団員幹部候補研修(1日研修)	12/4		
・対象者 分団長以下			
・出席者 59団中 49名			
・講師:元日本消防協会福祉部長 小野和夫氏及び 系魚川市消防団長 齊藤直文氏			
講習内容:			
1 消防団への期待と団員確保のための方策			
2 系魚川市駅北大火災の消防団員としての体験談			
(7) 消防団幹部地震対策特別講習(1日講習)	12/10		
・対象者 分団長以下			
・出席者 39団中 59名			
・講師:神奈川県建設業協会 杉原講師・(株)コヤワタオフィス			
講習内容:			
1 神奈川県の地震対策と災害対策基本法に基づく活動上の取り組み			
2 ドローンの基本的な構造と取扱、法規制と活動事例(火災を想定)			

事業項目	実施内容	事業区分	日程(時期)
Ⅲ 指導研修・調査研究	<p>(8) 女性消防団員等研修(1日研修)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対象者 女性消防団員、婦人消防隊員等の指導者</li> <li>・出席者 女性消防団員 40団中48名 婦人消防隊員等10名 計58名</li> </ul> <p>(9) 消防団分団長研修(1日研修)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対象者 各団分団長又は副分団長1名</li> <li>・出席者 39団中 34名(当日欠席者5名)</li> </ul> <p>講習内容:</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 災害対策基本法と消防団組織</li> <li>2 図上検討</li> </ol> <ul style="list-style-type: none"> <li>・横浜市20団は別途実施</li> <li>実施日: 1/21 出席者: 20団72名</li> </ul> <p>2 第25回全国女性消防操法大会への参加</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・場 所: 東京臨海広域防災公園_江東区有明3-8-35</li> <li>・出状隊 相模原市女性消防団 1隊 7名</li> <li>・参加者 310名</li> </ul> <p>3 第28回全国女性消防団員活性化石川大会への参加</p> <p>於) いしかわ総合スポーツセンター メインアリーナ_金沢市権日野町北222番地 『ようこそ 石川へ 百万石の花と咲け! 輝く女性消防団』 をテーマに開催された大会へ女性消防団員を派遣した。</p> <p>情報交流会: ホテル金沢 参加者 女性消防団員35名 会長、伊勢原市消防団長他 協会事務局4名</p> <p>4 総合的防災に係る指導及び講習に関する調査研究消防防火に関する国際的団体への参加助成消防学術研修会への参加助成</p> <p>(1) 日本消防協会が主催する第50回消防団幹部特別研修 3泊4日研修 1名 参加団員(秦野市消防団長 諸星 徹)</p> <p>(2) 第24回消防団幹部候補中央研修 男性消防団員の部 2泊3日、男3名 横浜市神奈川_山田英志・川崎市高津_安武大樹 ・相模原市津久井方面隊_林一巳</p> <p>(3) 第24回消防団幹部候補中央研修 女性消防団員の部 2泊3日、女1名 参加団員(平塚市消防団_上野千寛)</p>		<p>2/4</p> <p>2/21</p> <p>10/21</p> <p>11/15~17</p> <p>1/16 ~19</p> <p>1/31~2/2</p> <p>2/14~16</p>
Ⅳ 福祉対策	<p>1 消防団員に対し次の区分により弔慰金・見舞金を贈呈した。</p> <p>(1) 弔慰救済 23名(4/1~3/31)</p> <p>(2) 障害及び傷病救慰 0名</p> <p>(3) り災救慰 0名</p> <p>2 消防慰霊碑管理委員会の行う慰霊祭に補助金を交付するとともに、同委員会の事業に協力した。</p> <p>(1) 神奈川県殉職消防職団員慰霊祭 ・於 神奈川県消防学校 参列者等 合計588名</p> <p>(2) 慰霊碑管理委員会</p> <p>ア 第1回 於 シルクセンター</p> <p>イ 第2回 於 シルクセンター</p> <p>3 神奈川県消防長会とともに神奈川県消防殉職者遺族会が行う消防殉職者遺族に対する援護活動を積極的に支援した。</p> <p>(1) 神奈川県消防殉職者遺族会 第1回理事会 於 シルクセンター</p> <p>(2) 神奈川県消防殉職者遺族会 第2回理事会 於 シルクセンター</p>	<p>(他)</p> <p>(他)</p> <p>(他)</p> <p>(他)</p>	<p>期間中</p> <p>10/18</p> <p>4/20</p> <p>8/3</p> <p>4/20</p> <p>8/3</p>

事業項目	実施内容	事業区分	日程(時期)
V 防火思想の啓発	火災予防ポスターを配布し、火災予防思想の啓発高揚を図った。(10月/2月)	(公3)	期間中
VI 消防力の充実強化	1 消防団員確保のための普及・啓発活動の推進を図った。 2 日本消防協会が交付する防災車両等の積極的な配置要請を行った。 ・消防団防災学習・災害活動車Ⅱ(ワンボックス型) 消防団活動車(SUV型)(防災活動車) 供に今年度交付無 3 青少年消防クラブ及び婦人消防隊の育成強化と普及広報活動を推進した。 4 女性消防団員制度導入に伴う普及啓発支援活動の支援を行った。 5 消防団活動の助成 各消防団(支部)に交付金を交付し、活動の充実を図った。	(公1) (公1) (公1) (公3) (公1)	期間中 期間中 9/11 期間中 期間中 7/5
VII 日本消防協会との協力	1 消防個人年金制度の普及を図る。 職団員合計954名 2 消防団員福祉共済制度の普及を図る。 (1) 加入状況 58団 0本部 1協会 11,336名 (2) 福祉共済の取扱 3 婦人消防隊員等福祉共済制度の普及を図る。 (1) 加入状況 1市 2町 25名 (2) 共済金の取扱 4 全日本消防人共済会の行う火災共済制度の普及を図る。 (1) 加入状況 7団 1協会 442名 (2) 共済金の取扱 5 消防育英会の行う育英事業の普及を図る。 ・奨学金受給者なし 6 全国消防殉職者慰霊祭については、規模縮小の開催となり、ご遺族代表2名(岩井様・添田様)、飯田会長及び事務局長が参列した。	(他) (他) (他) (他) (他) (他)	期間中 期間中 R6.1/1現在 期間中 R5.4/1現在 期間中 R6.3/1現在 期間中 9/14

## 事業区分

- (公1) 県民の生命、身体及び財産を火災等から保護すると共に各種災害による被害を軽減するための消防防災技術の向上及び消防団等の組織の強化事業
- (公2) 県民の生命、身体及び財産を火災等から保護すると共に各種災害による被害を軽減するための消防団員の士気の高揚と組織の強化事業
- (公3) 県民の生命、身体及び財産を火災等から保護すると共に各種災害による被害を軽減するための地域連携の強化事業
- (他) その他の事業